# 日比津中学校だより

名古屋市立日比津中学校 第5号 R3.9.9

TEL 052-481-8335

FAX 052-461-3548

http://www.hibitsu-j.nagoya-c.ed.jp/

### 2学期が始まりました

1年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くのアスリートの活躍が報じられる一方、例年にない大雨と新型コロナウイルスの猛威により、全国各地が危機的な状況に陥る異例の夏休みとなりました。改めて、「あたりまえの生活」に感謝するとともに、自然災害や病気によって「あたりまえの生活」を奪われてしまった方々に思いをはせ、互いを思いやる心を忘れずに生活していくことの大切さを生徒に伝えていきます。まだまだ先の見えない状況ではありますが、生徒たちが安心・安全な学校生活を送ることができるよう、ご家庭や地域の方と協力していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、これまで以上に身近に迫っています。いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない状況です。大雨や地震などの気象災害はその様子が目で感じ取れます。しかし、ウイルスは目で見えないため、より大きな不安材料となります。そこで、私たち一人一人が互いを思いやる心をもち、互いを支え合って生活することが大切です。差別や誹謗(ひぼう)中傷は決して許されないことであり、そのような心ない言動をしないようお願いします。(略)立ち向かうべき相手はウイルスであって人ではありません。それぞれの立場で今できることを行っていきましょう。(略)

成功する人、成功する企業や職場に共通していることは、環境の変化をしっかり捉え、それに合わせて行動様式や経営方針を変化させることができることです。これは学校にも当てはまることだと思います。この1年あまりで学校生活も一変してしまいました。このような中で、一人一人が互いを尊重しながら、今何ができるかを考え、できることを精一杯行っていくこと。その繰り返しが環境への適応となり、皆さんの成長につながっていきます。(始業式 校長式辞)

## 再延期の修学旅行【3年生】

9/1に延期されていた修学旅行が、感染拡大の影響を受け、再び延期されることになりました。3年生の皆さんは、待ちに待った修学旅行がまた遠のいてしまい、大変残念に思っていることでしょう。昨年度の稲武野外学習が中止になっていることもあり、何とか3年生の生徒たちを無事修学旅行に行かせてやりたいと、職員で知恵を絞っています。幸い、旅行会社や受け入れ先の宿や施設の方々のご尽力もあり、10月26日から2泊3日の日程で予約を取ることができました。このような状況下にも関わらず、受け入れてくださる宿や施設の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後、全国の感染状況が収まっていくことを願いながら、準備に取り組んでいきましょう。

日 程 10月26日(火) ナガシマスパーランドでの班別学習 長良川ホテルパーク 泊

27日(水) 高山市【体験学習・班別分散学習】瑠璃光 泊

28日(木) 金沢市【班別分散学習】 ※全行程バスで移動します



### タブレットの持ち帰りについて

学習用タブレットの持ち帰りが始まりました。このタブレットは、学習支援のために学校に支給されたものです。生徒個人の持ち物ではなく学校の備品なので、自分の次に使用する人がいることを忘れないでください。また、インターネットに接続するので、情報モラルを守り、正しい使い方をよく考えて、大切に扱いましょう。

#### 学習用タブレット使用上の大原則

- ①学習のために使おう。(遊びの道具ではありません!)
- ②**人の気持ち**を考えて使おう。(一度ネット上にあげた情報は消せません。人を傷付ける内容、 自分や他人の情報の取り扱いには、くれぐれも注意しましょう)

### チャレンジ!~まずはやってみよう!~

現在の感染状況を踏まえ、なるべく「密」を避ける形で、どのように学校を運営していくか、試行錯誤しています。

朝の学年集会を、ZOOM を使ってオンライン集会にしたり、Microsoft Teams を使ったオンラインクラス会議に挑戦したりと、「今できること」を手探りで進めています。何事も、最初は失敗がつきもの。うまくいかないこともありますが、日比津中学校の教職員・生徒全員で「まずはやってみよう!」を合言葉に、少しずつレベルアップしていきましょう。



【朝の ZOOM 集会の様子】

いろいろなことが思うようにいかない今だからこそ、考えさせられる言葉を皆さんに紹介します。「勝者と敗者」という言葉です。「**勝者」=「何かを成しとげることのできる人」**だと思って読んでみてください。

#### 勝者と敗者

勝者はいつも**答え**を出そうとする。

敗者はいつも**問題点**しか出さない。

勝者はあらゆる問題に対して解決策を見つけようとする。

敗者はあらゆる解決策について**問題**を見つけようとする。

勝者には常に**計画**がある。

敗者には常に**言い訳**がある。

勝者は言う、「私にやらせてください。」

敗者は言う、「**私の仕事ではありません**。」

勝者は言う、「難しいかもしれません、でも**やればできます**。」

敗者は言う、「やればできるかもしれません、でも**難しすぎます**。」